

令和5年度 実績報告

番号	事業名	効果	主な実績内容等
1	会費の募集 会員の募集・会費納入の推進	会費を納入いただいたことで、町民に直接的・間接的に社会福祉事業を支援していただいている。（1世帯500円）	募集期間 10月1日から3ヶ月間 会員総数 2,352件 会費総額 1,176,000円
＜地域福祉事業＞			
2	ボランティアセンター運営事業	ボランティアの相談・登録・斡旋などを実施し、新たなボランティアの発掘と育成を図った。	・ボランティア活動の促進 新規ボランティア登録者数 4名 相談・斡旋 4件 ・福祉教育の推進 中学校60,000円 小学校（3校）各40,000円 （計180,000円） ・ボランティア保険の加入 597名
3	地区社会福祉協議会事業 ・介護予防の取組み	各関係機関と連携して、小域福祉圏を核としてボランティア活動を中心にサロンの普及を図るとともに、広報啓発を行い住民の参加意欲を高めた。 各地区社会福祉協議会主催により、「友達づくり・安否確認・介護予防」を目的にサロンを実施し、健康に不安がある、各種相談をうけたい、心配がある参加者の情報を受け、解決やサービスに繋げた。	小域福祉圏（関・南白亀・白潟地区社会福祉協議会） ・関フレンドサロン・夢サロン ・見守り活動・広報発行（年2回） ・スマイルクラブと保育所の交流会助成 ・アルミ・プルトップの回収 令和5年度実績 17,666円 福祉教育関係 [団体：関・南白亀・白潟地区社会福祉協議会] [学校：関小学校・南白亀小学校・白潟小学校・白子中学校・茂原高校] （福祉教育事業内容） ・南白亀地区高齢者小学校運動会招待事業 ・世代間交流 （福祉教育会議関係） ・福祉教育プログラム企画部会 ・各地区役員会開催、総会 ・関地区社会福祉協議会サロン （1）開催数24回 （2）延べ参加人数 スタッフ含め475名 ・南白亀地区社会福祉協議会サロン （1）開催数13回 （2）延べ参加人数 スタッフ含め327名 ・白潟地区社会福祉協議会サロン （1）開催数13回 （2）延べ参加人数 スタッフ含め251名
＜共同募金配分金事業＞			
4	共同募金活動等の推進	地域福祉活動に不可欠な民間活動の財源確保とともに、広報啓発活動及び地域福祉の積極的な取り組み支援を図った。	赤い羽根募金（10月1日から3ヶ月間） 目標額 2,310,000円 実績額 2,156,913円（達成率 93.4%） 件数 2,460件（自治会2,352件 その他108件）

番号	事業名	効果	主な実績内容等
5	＜赤い羽根募金配分事業＞	主な配分事業：敬老祝品・スマイルクラブ助成・幼児サークル助成・地区社協助成・広報費等	＜助成事業＞ ・地区社会福祉協議会助成（3地区） ・社協広報 ・敬老祝賀品 ・防災用備品購入 ・スマイルクラブ助成 ・福祉器具貸し出し ・スマホの基本講座 （子育て支援） ・ほっぺの会助成（幼児サークル） ・少年サッカーイベント助成 ・子育てサロン助成 子育てサロン開催数12回 延べ参加人数215人（親子93組）
6	歳末たすけあい募金	町内各種団体の年末行事への支援を行った。	歳末たすけあい募金（10月1日から3ヶ月間） 目標額 461,000円 実績額 493,801円（達成率107.1%） 件数（自治会：2,354件 その他：8件） ・各種団体支援 ほっぺの会（幼児サークル）支援 ボランティア連絡協議会 ゆうあい訪問慰問品配布
＜相談事業＞			
7	心配ごと相談事業	住民の日常生活の様々な相談に対し、民生委員児童委員、行政相談委員の協力を得て、相談者に助言したり、適切な機関へ紹介する等問題解決の手助けを行った。また、第2水曜日は人権擁護委員も加わった合同相談を実施し、幅広く問題解決に結び付けた。	相談取扱件数：34件 主な相談内容：財産16件、人権5件、事故4件、苦情2件、老人福祉2件、家族・離婚・障害者福祉・母子福祉・その他 各1件 弁護士相談 4件
8	結婚相談事業	相談所を開設し、現在の登録者や結婚について不安をもっている方の相談を行った。	結婚相談員連絡会 12回 お見合い件数6件 婚活パーティー参加者 白子男性2名女性2名 長柄町男性1名 女性3名
＜在宅福祉事業＞			
9	給食サービス事業	75歳以上の見守りが必要な一人暮らし高齢者に、ボランティアが調理した弁当を届け安否確認を行った。	毎月第2・4金曜日配達（年24回） 登録者数 38名 延配達数 749名
10	紙おむつ給付事業	在宅で介護保険制度の要介護4・5の認定等を受けた常時失禁している方へ年4回、紙おむつ等を給付し、在宅介護及び経済的負担の軽減を図った。	支給月 4月・7月・10月・1月（年4回） 給付者数 31～37名 延べ人数 135名
11	外出支援サービス事業	単独で公共交通機関を利用できない、概ね65歳以上の高齢者のみの世帯に対し、リフト付きのワゴン車により「居宅から近隣市町村の医療機関・公共機関等へ」の外出支援を行った。	登録者数 24名 延べ利用人数 461名
12	らくらくタクシー事業	高齢者を町内の医療機関、商店、公共機関等に送迎し、外出の支援を行った。	登録者数 61名 延べ利用人数 1,030名 延べ行先件数 1,671件

番号	事業名	効果	主な実績内容等
<貸付事業>			
13	生活援護資金貸付（町社協）	低所得者世帯へ援護資金を貸し付け、生活援護を図った。	生活援護資金（町）貸付 内 訳 貸付件数：５件 貸付総額：１５０，０００円 貸付内容：生活保護支給までの生活費 相談延べ件数：３１件
14	千葉県社協貸付事業（事務費） （コロナ特例資金 事務費）	低所得者世帯・障害者世帯・高齢者世帯に対して資金の貸付申請の支援、必要な相談支援を行い、その世帯の経済的な自立と生活の安定を図った。 新型コロナウイルス感染症の発生による休業や失業等により、一時的又は継続的に収入減収した世帯に対しコロナ特例貸付をおこなっている。その借受人に対し生活再建に向けたフォローアップ支援を行った。（面談・架電・自宅訪問・必要な機関につないだ）	生活福祉資金・臨時特例つなぎ資金 相談延べ件数：５３件 生活福祉資金（コロナ特例） 借受世帯：緊急小口資金（特例）８３件 総合支援資金（特例）９３件 借受世帯支援延べ件数：３３件
<日常の生活支援>			
15	日常生活自立支援事業	高齢者、知的障害者、精神障害者などの判断能力が不自由な者に対して、福祉サービスの利用に関する援助等を行うことにより、自立した生活が送れるように支援した。	福祉サービス利用援助事業 ・財産管理サービス ・財産保全サービス ・新規契約：３件、解約４件 ・Ｒ６．３．３１現在利用者：７名
16	法人後見事業	判断力が不十分な認知症高齢者、精神障害者、知的障害者の方に、財産管理・契約などの相談、助言、後見事務ができるように事務を進めた。	関係書類の整備 法人後見受任調整会議の委員の依頼
<心身障がい者（児）福祉の推進>			
17	介護用品の貸出	リフト付きのワゴン車や車いすを無料で貸し出し、障がいのある方や高齢者の社会参加のための支援を図った。	車椅子 ５０件 福祉カー ２６件
<児童・母子福祉の推進>			
18	交通遺児援護事業（県社協）	義務教育中の交通遺児家庭に対して、図書券や激励金又は奨励金を支給し、経済的援助を図る。	町内の保育所・小中学校の調査を行った。
<各種団体支援>			
19	団体活動助成事業	福祉団体を助成し、活動を支援した。	保護司会 遺族会 障がい者福祉会 更生保護女性会

番号	事業名	効果	主な実績内容等
	＜介護保険 包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）＞		
20	地域包括支援センター事業	・要支援者及び日常生活総合事業対象者に対して、適切なケアマネジメントを実施し、サービス導入をしたことにより、利用者の生活の質の向上・自立支援・重度化防止へつなげた。 ・家族関係の多様化・希薄化により相談内容も複雑化している。このような状況の中、関係機関と連携を図り、利用者及び家族の支援に介入できた。 ・介護支援専門員が、包括的・継続的ケアマネジメントを実践できるように、適切な指導・助言が出来た。	1. 指定介護予防支援事業 (1) 介護予防支援給付管理数 689件 2. 包括的支援事業（地域包括支援センターの運営） (1) 第1号介護予防支援事業 ケアマネジメントAの作成 ケアマネマネジメントA給付管理数 303件 (2) 総合相談業務 相談件数 428件〔内訳は12頁のとおり〕 (3) 権利擁護業務 ・成年後見制度の説明や申立てに当たったの関係機関の紹介数 6件 →上記のうち市町村申立て事例数 2件 ・老人福祉施設等への措置の支援 0件 ・消費者被害等の防止 →千葉県警察が発行する啓発情報チラシを掲示し、消費者被害等の防止啓発をおこなった。 (4) 包括的・継続的ケアマネジメント業務 〔介護支援専門員の意見交換会〕 ・令和6年1月11日 居宅介護支援事業所5事業所8名参加 〔地域ケア個別会議〕 ・令和5年7月24日 1事例（ZOOM開催） 参加者：医療介護等の専門職14名・傍聴者なし ・令和5年10月23日 1事例（ZOOM開催） 参加者：医療介護等の専門職13名・傍聴者なし ・令和6年1月22日 1事例（ZOOM開催） 参加者：医療介護等の専門職13名・傍聴者なし 〔地域個別会議（困難事例）〕 ・令和5年5月26日 1事例 ・令和5年5月22日、11月28日 1事例 〔事例検討会〕 ・開催なし 〔介護支援専門員研修〕 ・令和6年2月15日 13：15～16：30 講師：中核地域生活支援センター 長生ひなた 渋谷 茂氏 ～多職種連携の必要性や疾患からみえてくる支援策について～ 講師：精神特化型訪問看護ステーション あやめ ～医療につなげた成功例・失敗例から学んだ事例紹介～ 講師：健康福祉課 保健師 高橋梨沙氏 ～医療費との関係性等の最低限知っておくと良い知識～ 参加者 ZOOM13名・参集26名 計39名

番号	事業名	効果	主な実績内容等
			3. 包括的支援事業（社会保障充実分） （１）在宅医療・介護連携促進事業 〔医療・介護職の意見交換会〕 ・令和６年２月１５日の研修会 - 精神特化型の訪問看護ステーションあやめと意見交換実施 （２）認知症総合支援事業 〔認知症初期集中支援チーム活動〕 ・チーム活動介入（対象）事例０件 ・チーム医への相談・報告件数７件 〔長生郡５町村認知症初期集中支援チーム検討委員会〕 ・１回開催（令和５年１１月２８日 白子町役場） 〔認知症家族会・認知症カフェ（オレンジカフェ白子）の開催〕 ・令和５年 ７月２１日 関ふれあいセンター ・令和５年 ９月２９日 関ふれあいセンター ・令和５年１１月２４日 関ふれあいセンター ・令和６年 １月１９日 関ふれあいセンター - 総参加者９名（うち介護支援専門員２名） 〔認知症サポーター養成講座〕 ・令和５年７月２７日 さくらカフェ 受講者３名 〔認知症月間のイベント〕 ・映画上映会「ぼけますからよろしくお願いします」 参加者１８名 4. 介護予防・日常生活支援総合事業 〔通所Ｂの運営補助〕 ・ふれあい幸民館 月曜日：３３回開催 参加実人数９名 - 金曜日：３２回開催 参加実人数１２名 〔ケアマネジメントＣの作成〕 ※通所Ｂ利用対象者に対するケアプラン作成数 ・ふれあい幸民館 １８件 5. その他 介護度重度化防止推進員支援 〔介護予防出張教室〕 ・５箇所（うち２箇所は自主開催） ２３回実施（現任推進員数６名） ・参加実人数１０名（延べ人数７１名） 〔介護予防教室〕 ・健康講話 令和５年４月２０日 感染症対策・脳トレ - 参加者数 白湯夢サロン利用者１７名 ・介護予防講座 令和５年９月２６日 - 明治安田生命「楽しく学ぶ！認知症予防講座」 - 参加者数 ８名 ・地域介護教室 令和６年３月１８日 参加者１３名 ・認知機能検査（ファイブ・コグ） 参加者８名

番号	事業名	効果	主な実績内容等
<介護保険 総合事業 一般介護予防事業>			
21	いきいき健口教室事業	口腔機能訓練を実施し、口周りの筋力が強化され唾液が出るようになり呑み込みが良くなることを理解してもらうことができた。また自宅でも継続できる口腔機能訓練の実施方法等も周知できた。	開催日：令和5年11月16日 参加数：参加者数13名
22	介護支援サポーター事業	高齢者が介護支援サポーター活動を通して積極的に社会参加し、地域貢献することを奨励するとともに、高齢者の自発的な介護予防を促進した。	・登録者28名 ・サポーター活動延べ時間1,034時間 ・ポイント換金者22名 ・換金額 88,600円
<介護保険 包括的支援事業（社会保障充実分）>			
23	生活支援体制整備事業	高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援等サービスの提供体制の構築に向けたコーディネートを行った。	(1) 協議体開催 3回 出席者：白子町役場健康福祉課介護保険係 白子町地域包括支援センター 生活支援コーディネーター 主な協議内容： ①たすけあいチームの自治会への事業展開について ②生活便利帳（社会資源マップ）の修正・情報追加について ③要支援者への生活向上の提案・課題解決支援 ④生活応援隊（仮称）について (2) 生活便利帳の修正・情報追加 追加情報：訪問診療・訪問歯科・入所施設 (3) たすけあいチームの案内 対象自治会：32自治会 (4) 要支援者等への生活向上提案・生活課題の支援 10件 (5) ラインアプリ脳若365への予防情報投稿 (6) 地域介護教室にて、生活支援コーディネーターの活動紹介及び生活便利帳の普及 (7) 介護支援サポーター活動及び登録の斡旋 (8) 生活情報の提供：個人3件